

宇部市立桃山中学校 働き方改革について 令和7年8月

○本校は「山口県学校における働き方改革加速化プラン」（山口県教育委員会）や「働き方改革リーフレット」（宇部市教育委員会）などに沿って、持続可能な学校づくりや教職員の健康、子どもたちのよりよい成長のために、働き方改革を推進しています。

☆業務の見直し・効率化を行っています。

- ・欠席・遅刻連絡や保護者連絡（一部）をデジタル化しています。
- ・保護者配付文書（一部）やアンケート調査をデジタル化しています。
- ・職員会議などの資料（一部）をデジタル化しています。
- ・**R7 新** PTA 広報誌をデジタル化します。
- ・職員朝礼・終礼を行わないなど会議を精選しています。
- ・校務支援システムを活用して日々の業務連絡や情報共有などを行っています。
- ・テストの採点（一部）をデジタル採点システムで行っています。



☆教職員の勤務体制を改善しています。

勤務時間（基本） 8：15～16：45

- ・勤務管理システムで全教職員の勤務時間を管理し、勤務時間を意識して働いています。
- ・勤務開始時刻（8：15）に合わせて校舎を解錠しています。
- ・職員会議などを行う水曜日は部活動を中止し、時間を確保しています。
- ・定期考査日（最終日も含む）は部活動を中止し、採点業務の時間を確保しています。
- ・定時退庁（16：45）を毎日目指しています。遅くとも19時までには退庁するように努めています。
- ・年次有給休暇の積極的な取得を推奨しています。

☆学校支援人材の活用に取り組んでいます。

- ・コミュニティ・スクールを活用して、持続可能で魅力ある学校・地域づくりに取り組みます。
- ・学校司書が、図書室の活用を推進しています。長期休業中も読書や学習に利用できます。
- ・教育支援員が、特別な教育的支援が必要な子どもを支援しています。
- ・学校支援員が、配付物の印刷や掲示物の管理、環境美化等の教員業務を支援しています。
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが、子どもや家庭を支援しています。
- ・日直員が、勤務時間外での来客・電話対応や校舎の施錠などの教員業務を支援しています。
- ・部活動指導員が、部活動の指導を支援しています。

子どもたちのよりよい成長には、教職員の心身の健康や日々の授業準備の時間が必要です。
また、教職員の中には、子育てや介護、通院などのため業務上の配慮が必要な者もおります。
保護者の皆様や地域の皆様、関係の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。